

## 既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、研究・診療等により収集・保存された既存試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただいております。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、可能な限り研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

受付番号	(ゲノム) 第 412 号
研究課題	造血器腫瘍関連遺伝子変異が細胞表現型を規定するメカニズムの解明
本研究の実施体制	研究責任者：松井啓隆（大学院生命科学研究部 臨床病態解析学講座・教授）(研究統括) 研究担当者：神力悟（大学院生命科学研究部 臨床病態解析学講座・准教授）(遺伝子解析・分子生物学的解析)  共同研究先：Yuliang Wu（カナダ サスカチュワン大学・准教授）(細胞生物学的解析・分子生物学的解析)
本研究の目的及び意義	本研究は、急性白血病や骨髄異形成症候群などの原因となる遺伝子の異常が、どのようなメカニズムで血液細胞の増殖を促し分化を障害するか明らかにすることを目的として実施するものです。近年、造血器腫瘍の責任遺伝子変異はほぼ全容が解明され、現在は、個々の遺伝子変異が疾患の発症や進展にどのように寄与するのかという点に研究者の注目が寄せられています。私たちは以前に、造血器腫瘍患者さん由来の未分化造血細胞、を単離し、次世代シーケンサーという装置を用いた mRNA シーケンス法によって、網羅的な遺伝子発現・変異解析を実施しました。本研究では、この解析で得られ保存されていたデータを活用し、疾患発症メカニズムに関する、より詳細な解析を行うことを目的とします。
研究の方法	本研究では、過去に広島大学において収集され解析された情報の一部が用いられます。上記の通り、すでに mRNA シーケンスによって 23 名分の遺伝子情報(遺伝子発現と変異に関する情報)が得られており、今回は、造血器腫瘍の発症や進展に関連することが知られている遺伝子変異の有無によって、細胞の遺伝子発現(遺伝子から転写される mRNA の量)がどのように変化するか解析します。 本研究はカナダ サスカチュワン大学との共同研究として行われ、得られた結果は学会や専門誌への論文として発表されます。
研究期間	大学院生命科学研究部長によって承認された日から、2025 年 3 月 31 日まで

#### 試料・情報の取得期間

本研究は、2009年から2015年にかけて広島大学・原爆放射線医学総合研究所において収集された試料から得た遺伝子解析情報が利用されますが、以下に示すように、熊本大学では個人を識別するための対応表の提供は受けていませんので、どの患者さんから得られた情報であるのか判別することができません。

#### 研究に利用する試料・情報

- 1) 疾患名(急性骨髄性白血病・骨髄異形成症候群など)
- 2) 網羅的遺伝子発現解析情報
- 3) 血液細胞における遺伝子変異情報

#### 個人情報への取扱い

本研究では、個人を識別するための対応表を入手せず遺伝子発現解析・遺伝子変異解析を行いますので、研究代表者ならびに担当者であっても、用いる遺伝子情報がどなたのものか分からない状態で使用することになります。一部において広島大学に对应表が保存されていますが、今回は対応表との照合は行いません。

また、遺伝子変異情報等を含む内容を論文として学術誌において発表することを目的として研究を実施しますが、個人の識別が可能となる情報を論文やデータベース等に示すことはありません。

#### 研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法

上記の通り、研究対象者がどなたであるか、研究を実施する代表者・担当者であっても分からない状態であることから、個々の患者さん(提供者)に関する情報を開示することは出来ません。研究の実施内容に関する一般的な情報であれば、差支えの無い範囲で開示することが可能ですので、ご希望の場合には下記の連絡先までご連絡ください。

なお、過去の研究において同じ遺伝子情報を用いて研究を実施していますが、これまでのところ重大な遺伝子変異情報(患者さんならびに血縁者の病気に影響を及ぼす可能性の高い遺伝的な変異)は見つかっていないことを申し添えます。

#### 利益相反について

本研究は、国から交付された研究費(科学研究費)によって行われる予定ですが、本研究に携わる全研究者は費用を公正に使った研究を行い、本研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。

#### 本研究参加へのお断りの申し出について

上記に示しましたように、本研究に使用する遺伝子発現・遺伝子変異情報は、研究を実施する担当者等であってもどなたのものを使っているのか分からない状態であるため、仮に研究利用をお断りになりたい場合であってもこれに応じることが困難です。研究の実施内容については、研究の遂行に差支えの無い範囲で開示することが可能ですので、ご希望の方は以下の連絡先までご連絡ください。

#### 本研究に関する問い合わせ

研究代表者：松井啓隆

所属：熊本大学 大学院生命科学研究部 臨床病態解析学講座

連絡先：096-373-5283 (受付可能時間：平日 9:00-17:00)